

# 公徳会研究室 5周年記念研究会

日時：平成28年10月15日(土) 10:00-17:00

会場：山形テルサ (山形市双葉町1-2-3)

参加費：無料

社会医療法人公徳会は、研究室設立から5年が経とうとしています。これを記念して、これまでの当研究室の研究成果をまとめて発表します。

精神疾患の中でも気分障害（うつ病、双極性障害）と認知症について、生物学的視点を中心に、基礎から臨床まで幅広くお話します。臨床、研究、企業の垣根なく、ディスカッションの時間をできるだけ長く設ける予定です。もちろん、聞くだけでも関心のある部分だけでの参加も歓迎します。席に限りがありますので、予約制としました。

すべてのセッション、各セッション1つだけでも参加可能です。皆様のご参加お待ちしております。

**演者：社会医療法人公徳会 若宮病院**

**院長 栗田 征武 他**

セッション： 第1部（基礎編）  
第2部（気分障害編）  
第3部（認知症編）

お申し込みは並びにお問い合わせは、下記ホームページの申込みフォーム、お問い合わせフォームにてお願いします。

<http://www.koutoku-lab.com>

申し込み多数の場合、早期終了する場合があります。

主催：社会医療法人公徳会研究室

# プログラム

## <第1部・基礎編>

10:00- (座長：栗田征武／社会医療法人公徳会 若宮病院)

- 治療濃度でのリチウムとバルプロ酸は、ヒトアストロサイトーマ細胞で、BDNFの産生に、異なる働きをする (演者：西野敏／社会医療法人公徳会 佐藤病院)
- 体内時計機能の脆弱化による気分障害発症と海馬ニューロン新生亢進機序 (演者：守屋孝洋 准教授／東北大学薬学研究科 生活習慣病治療薬学分野 (旧細胞情報薬学分野))
- BDNFについて (演者：西野敏／社会医療法人公徳会 佐藤病院)

(昼食・各自)

## <第2部・臨床 気分障害編>

13:00-

- 双極性障害の躁状態と寛解でノルアドレナリン代謝産物が症状を示すバイオマーカーの有用性 (演者：栗田征武／社会医療法人公徳会 若宮病院)
- 双極性障害のうつ状態、寛解、躁状態の症状を示すバイオマーカーについて (長期間のケース報告) (演者：栗田征武／社会医療法人公徳会 若宮病院)
- BDNFは、うつ病の治療を予測する (演者：栗田征武／社会医療法人公徳会 若宮病院)

(小休止)

## <第3部・臨床 認知症編>

15:00-

- BPSDに対するリスペリドン、抑肝散、フルボキサミンの効果と忍容性について (演者：栗田征武／社会医療法人公徳会 若宮病院)
- BPSDに対するリスペリドン、抑肝散、フルボキサミンで治療した際のバイオマーカーの変化について (演者：栗田征武／社会医療法人公徳会 若宮病院)

## <交流会>

17:00-19:00

参加自由：各自負担

場所：シロー絵夢 (山形テルサ内1階)

会費：4000円

※プログラムの一部を変更する場合があります。